

いきいき通信では、年2回男女共同参画に関する情報をお知らせします。

いきいき通信

編集／大船渡市企画政策部男女共同参画室

(〒022-8501 岩手県大船渡市盛町字宇津野沢15 / ☎0192②3111(内線214) / ㊚0192⑥4477)

平成29年度男女共同参画

サポーター養成講座を修了

～受講者からお話を伺いました～

岩手県と岩手県男女共同参画センターが主催する、平成29年度「男女共同参画サポーター養成講座」が、昨年5月から10月までの期間に、7日間にわたり18講座の日程で盛岡市などを会場に開催されました。

本市からは、今野良子さん(立根町)が受講し、岩手県知事より「男女共同参画サポーター」の認定を受けました。今野さんから受講の感想を伺いました。

▽今野良子さんの感想

キャリアコンサルタントとしてワーク・ライフ・バランスや働き方改革といわれる昨今の状況を勉強している中で、男女共同参画に興味を持ち、講座を受講しました。さまざまな立場の皆さんの体験談をお聴きし、問題点・考え方の物事の捉え方など、私の知らない世界がまだまだたくさんあることを知り、大変勉強になりました。

解決策のないことはたくさんありますが、さまざまな困りごとに手を差し伸べるのは特別な人ではなく、誰でもできるということに気付きました。解決に向くためのお手伝いは、「興味を持つ」という第

一歩から、次に話を聞いてみる。そこから「何が問題で自分に何ができるか」を考えればいいのです。それは「話を聴く」だけでもいいのだと思います。

今回の講座で最も興味を持ったのは「LGBT(※)」です。私の周りでは見聞きしなかったことだったので、当事者の講演で、幼少期から現在までの壮絶な奮闘記、未来に向けて前向きな話ができるようになるまでを聴き、支援する側も他の問題点への応用も考えながら対応すべきと感じました。

※LGBTとは、性同一性障害などや性的指向、性自認に関する呼称

第4次男女共同参画行動計画を策定

市では、平成24～29年度までを計画期間とする「第3次大船渡市男女共同参画行動計画」を策定し、男女共同参画社会の実現に向けて、さまざまな取り組みを進めてきました。

この計画期間が本年度末で満了となることから、これまでの取り組みの成果と課題や社会経済情勢などの現状を踏まえ、また、新たに女性活躍推進への対応を加え、「第4次男女共同参画行動計画(平成30～34年度)」を策定しました。

第4次行動計画では、4つの基本目標を掲げ、男女共同参画に関する意識啓発の推進

政策や方針決定過程への女性の参画促進、男女がともに働きやすい職場環境づくりの推進、暴力の根絶に関する啓発などに向けて、104の事業(取り組み)を実施し、家庭・地域・学校・職場などのあらゆる場で、全ての人とともに支えあい、認め合い、互いに思いやり、いきいきと活躍できる社会の実現を目指し、計画を実行していきます。

～8組22人が参加～

親子でわいわいクッキング教室

2月24日、働く婦人の家で、「親子でわいわいクッキング教室」を開催しました。教室には、8組22名の親子が参加。講師の菅原敬三さん、菅原和さん(立根町・カフェ&パルポゼ)から丁寧な指導を受けながら、バラのアップルパイと子どもも喜ぶ「白玉パンダ」を完成させました。参加者からは「楽しくできたし、また参加したい」との感想が寄せられました。



親子仲良く、お菓子作りを楽しみました

男女共同参画の視点からの復興とまちづくり「男女共同参画いきいきフォーラム」を開催

2月3日、シール大船渡で「男女共同参画いきいきフォーラム」を開催しました。本フォーラムは、男女共同参画の視点からの復興とまちづくりについて、「一人ひとり

できることは何か」を探りながら、男女共同参画についての理解と意識啓発を促進しようとして、岩手県、大船渡市、おふなと男女共同参画「うみねこの会」が主催、岩手県男女共同参画センターが共催しました。

前半は「地域における男女共同参画サポーターとの協働事業」として寸劇と講演会が



うみねこの会による寸劇の様子



吉野学部長の講演会の様子

復元まちづくりにおいて生活や地域が元に戻る過程で、まちづくりの担い手としての女性像を打ち出していくこと、運営に女性が参画しやすい環境づくりの必要性を話されました。

ドメスティックバイオレンス(DV)に関する啓発イベントを行いました

11月12日から25日の「女性に対する暴力をなくす運動」期間の初日に、おふなと男女共同参画「うみねこの会」(山下タエ子会長)による啓発活動が、市内ショッピングセンターで行われました。

買い物客一人ひとりに声掛けしながら、DV相談リーフレット、ポケットティッシュなどを入れた手提げ袋100セットを配布しました。今回は、気仙地域でも家庭内で女性に暴力をふるって事件になるケースが増えていることから、会員8人が参加し、「誰かに相談することで解決につながることもある。市でも窓口を開設しているので、一人で悩まず相談を」と呼び掛けま



啓発活動の様子 (提供=東海新報社)

した。初の取り組みとなる啓発活動に、山下会長は「足をとめて反応する人もあり、取り組みの重要性を感じた1日になりました」と感想を述べ、活動の継続に意欲を示しました。

DVなどの相談窓口

- ▷市役所本庁子ども課(☎内線193/平日9:00～16:00)
- ▷岩手県大船渡保健福祉環境センター(☎②9913/平日9:00～16:00)
- ▷岩手県男女共同参画センター(☎019-606-1762/火・金9:00～20:00、それ以外9:00～16:00)

～うみねこの会活動報告～

うみねこの会は、講演などを中心に活動してきました。設立10年を迎え、身近な課題をテーマとした寸劇を通して、男女共同参画社会の形成につながるさまざまな活動に取り組んでいます。

今回は「パワハラ」をテーマとした寸劇の初披露となりました。練習時間も短く、全員がそろうこともなく本番を迎えてしまい反省もあります。それでも一人一役で発表ができて好評でした。何より、会員同士が真剣に意見を出し合い、学び合い、積極的に参加し、会場の皆さんへ何かを伝えることができたことは有意義でした。最後に会場で輪唱したメッセージを紹介します。

「どんな時でも手をつなごう。そこから何かが生まれてくる。下を向いてばかりでは始まらない。希望を胸に絆を深く。明るい明日が待っている。」

(脚本=簡智恵子)